

一般質問通告表

平成22年第1回沖縄県議会(定例会)

02月23日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
1	20分	瑞慶覧 功(社大・結)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 米軍基地問題について

(1) 普天間基地移設問題について

ア 普天間基地の「新嘉手納基地統合案」に対する知事の見解は。

イ 全国議長会が全会一致で設置を決めた「外交安全保障等問題プロジェクト」への知事の見解は。

ウ 基地是正計画の作成趣旨と概要について

(2) 米軍関係者の基地外居住宅問題について

ア 危険なペット犬(闘犬種)の管理及び対策について

イ 米軍の基地内住宅居住率、各基地ごとの居住率について

ウ 米軍は基地内の居住率を規定の95%にするために、昨年8月以降沖縄に配属される家族連れ軍人に基地内居住を義務づける方針を発表したが、進捗状況は。

エ 知事は砂辺地域の基地外居住視察はされたのか、見解は。

(3) 日米地位協定の見直しについて

ア 中部市町村会の「日米地位協定の見直しを政府に求める決議」について知事の見解は。

(4) 読谷村のひき逃げ死亡事件について

ア 米兵起訴、逮捕まで2カ月もかかった理由は。

イ 飲酒運転容疑はどうなるのか。

2 農林水産業の振興について

(1) 北中城村のアーサ養殖について

ア 昨年と比較して、今年の県内の生産高と北中城村の生産高(量・収益金額)の予想は。

イ 生産高の増減の原因は、何によるものか究明できているのか。

ウ 一昨年問題となったとき、アーサ養殖網の泥の付着状況や現地を確認し、村や漁協と協議したか。

(2) 耕作放棄地対策について

ア 「地域耕作放棄地対策協議会」設置市町村の取り組みと成果は。

イ 平成23年目途、350ヘクタール程度の再利用目標の進捗状況と課題は。

3 教育行政について

(1) 学校教育における体罰について

ア 体罰の一律禁止の根拠と内容について

イ 県内で体罰を行い、懲戒処分をされた教職員の人数(1950年以降、年代ごとの平均)と処分内容について伺う。

ウ 部活やスポーツクラブで罰として、腕立て伏せやランニングをさせることは体罰か。

エ 体罰について真剣に向き合い議論するための場が必要と思うが、見解は。

(2) ハンディを持った生徒のボクシング競技出場不可問題について

ア 県教育委員会として日本アマチュアボクシング連盟に対し、出場を後押しする取り組みを行ってきたか。

イ 出場を可能にするために何が課題か、どのような支援が必要か。

(3) 特別支援学校幼稚部児童受入問題について

ア 前議会において、教育長は2月の応募を受けてからしっかり判断すると答弁していたが、どのような結論に至ったのか。

イ 県立学校教育課は、定数を今まで1学級5人だったのを8人とするとしているが、根拠は何なのか。

ウ 児童受け入れに当たり定数、教職員の数、施設面、安全面の確保等について教育現場との十分な話し合いは持たれたのか。

エ 特別支援学校の幼稚部という、児童一人一人の実態に合った支援、指導が必要になってくる。1学級の児童数を8人にふやして教員1人で対応するのは極めて困難だと思う。教員をふやすべきだと思うが、見解は。

4 糸満不発弾爆発事故について

(1) 被害者救済基金による補償内容について

(2) 政府の完全補償制度の内容と県として国に制度の確立を求める必要があると思うが見解を伺う。

5 自殺者対策について

(1) 2010年度「自殺対策緊急強化事業費」、7400万円の施策について伺う。

一般質問通告表

平成22年第1回沖縄県議会(定例会)

02月23日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
2	20分	崎山 嗣幸(社民・護憲)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 知事は、これまで自公政権と連携をとってきた。その自公政権が崩壊した今日でも自民・公明両党を支持基盤として政治活動を展開していく考えか。</p> <p>(2) 知事は、これまでも国政選挙や諸選挙は自民系の候補者を全面的に応援してきているが、その姿勢は今後も変わらないか。</p> <p>(3) 日米安全保障条約は50年の節目を迎える。沖縄の米軍基地の過重負担は、この安保の犠牲が根底にある。知事の所見を聞く。</p> <p>2 基地問題について</p> <p>(1) 知事は普天間基地の辺野古移設を堅持しており、そのことが政府に辺野古陸上案説を再浮上させる起因となっていないか。</p> <p>(2) 「沖縄21世紀ビジョン」での基地の位置づけを聞く。</p> <p>(3) 東村高江のヘリコプター着陸帯の建設は、静かで豊かな自然で暮らす住民の安全を脅かす。中止を求める考えはないか。</p> <p>3 雇用失業問題について 知事公約の失業率全国平均4%台達成の見通しはどうか。</p> <p>4 病後児保育の制度拡充について (1) 実施施設はほとんど赤字運営である。対策を講じる考えはないか。</p> <p>5 カボタージュ規制緩和について 県は、特区申請を国にしているが、県内の各界、特に海運業界との合意形成はどうか。また、国の見解と見通しを聞く。</p> <p>6 沖縄高速道路が無料化の対象となっているが、メリットとデメリットは分析されているか。</p> <p>7 我が会派の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

平成22年第1回沖縄県議会(定例会)

02月23日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	20分	新垣 安弘(民主党)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 知事の政治姿勢について

- (1) 久米島町長は、鳥島の射爆撃場の返還を求め、使用契約の継続を拒否するとの方針を打ち出すと思われるが、その際知事は、地元の方針を支持し、その実現に向けて協力していけるのか伺う。
- (2) 名護市長は、今後、普天間基地の辺野古への移設に反対を表明していくと思われるが、その際知事は、地元の方針を最大限尊重していかれるのか伺う。
- (3) 嘉手納町長は、普天間基地の嘉手納基地への分散移転を拒否するとの表明をしているが、知事も同様の見解なのか伺う。
- (4) 与那国町長は、自衛隊の与那国への配備を希望しているが、知事の見解を伺いたい。
- (5) 宜野湾市長が、米国の資料をもとに海兵隊のヘリ部隊や地上戦闘部隊などの大部分がグアムへ移る計画であり、県内移設は必要ないと述べているが、そのことについての知事の見解を伺う。

2 安全保障関連について

- (1) 全国議長会において、外交安全保障プロジェクトチームが発足したが、そのことについての知事の感想を伺いたい。
- (2) 県は、ここ数年来の沖縄近海と領空における中国軍の活動についてどのような状況にあると認識しているか。
- (3) 沖縄における自衛隊の展開状況はどうなっているか。
- (4) 自衛隊は本県においてどのような役割を果たしているか。
- (5) 自衛隊に関する県民意識はどのように変わってきているか。
- (6) 第1混成団が旅団に編成された背景にはどのような状況があるのか。
- (7) 沖縄に配属されている自衛官に占める県出身者の割合はどうなっているか。
- (8) 防災訓練における自衛隊との連携はどのようになされているか。
- (9) 沖縄における米軍と自衛隊の肩がわりは今後どのように進むと予想されるか。
- (10) 本県の置かれた特殊事情にかんがみ、基地対策だけの専門課ではなく、外交・安全保障・防衛全般を研究し「県民の安全保障」を扱う部署を置くべきではないか。

3 南西諸島における海洋権益について

- (1) 政府は本県を中心とする南西諸島の海洋権益についてどのような認識を持ち、どのような取り組みをしているか。
- (2) 沖縄21世紀ビジョンにおいては、海洋島嶼圏としての価値の確認を行い、離島地域の振興への支援強化に取り組むとあるが、今後どのように国の対応や支援を引き出していくのか。また、次年度の本県予算においてはどのようなところにその取り組みがなされているか。
- (3) 尖閣諸島とその海洋資源について、本県はどのような認識を持っているか。

4 離島振興について

- (1) 久米島町の今後の振興発展を考えたとき、海洋深層水の施設の充実が最重要課題の一つである。また海洋温度差発電を先端科学技術として、国策の一環として久米島の海洋深層水施設に併設させるべく久米島町のプロジェクトをバックアップするべきではないか。

5 農林水産業について

- (1) 学校給食における地元食材の割合は何%か。他府県との比較ではどのようになっているか。
- (2) 漁業従事者の推移と、本県水産業の今後の展望はどうなっているか。
- (3) 酪農家への乳用牛の導入に対する補助についてはどうなっているか。
- (4) 飼料の自給率向上についての取り組み状況はどうなっているか。

一般質問通告表

平成22年第1回沖縄県議会(定例会)

02月23日(火)

順位	時間	氏名(党派)	答弁を求める者
4	20分	上里 直司(民主党)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 平成22年度事業における物流コストの軽減策について</p> <p>(1) 事業名と予算額及びその合計額について伺う。また、過去3年間の合計額の推移を伺う。</p> <p>(2) 船舶法第3条の特区申請の進捗状況について伺う。</p> <p>2 中小企業政策について</p> <p>(1) 中小企業支援計画及び中小企業振興会議・地域部会の開催状況と課題について</p> <p>(2) 県単融資における「手続の簡素化」の取り組み状況について</p> <p>3 図書館行政について</p> <p>(1) 全国で展開されている図書館による貧困・困窮者支援の内容について伺う。また、県立図書館及び県内の公共図書館でも就労支援等の事業が展開できるよう後押しすべきではないか。</p> <p>(2) 図書館法第2条でうたわれている図書館の定義を伺う。</p> <p>(3) 分館設置の経緯とその目的について</p> <p>(4) 八重山分館の存廃をめぐる経過とそれに対する教育長、教育委員長の見解を伺う。</p> <p>(5) 図書館100周年事業の進捗状況を問う。</p> <p>4 平成22年度実施の自殺対策事業について伺う。</p> <p>5 公共交通について</p> <p>(1) 平成21年度県が実施した鉄軌道可能性調査と平成22年度実施予定の国の事業との関係について</p> <p>(2) 高速道路無料化の社会実験によるバス事業者への影響とその影響を最小限に食い止める対策について伺う。</p> <p>(3) いわゆるタクシー新法によって雇用への影響はあるのか。</p> <p>6 旧軍飛行場用地問題を沖縄振興計画の期間内で解決をするための取り組みについて</p> <p>7 待機児童解消に向けた国と県の共同事業について伺う。</p> <p>8 認可、認可外そして幼稚園という枠に入らない施設で、保育、教育施設あるいは保育サービスを展開している事業所の実態を把握しているか。また、それらへの国及び県の支援内容を伺う。</p> <p>9 内閣官房沖縄連絡室の設置への評価を伺う。</p> <p>10 行財政改革について</p> <p>(1) 新行革プランにおける公文書館の位置づけについて</p> <p>(2) 平成20年度公社等経営評価に関する意見書を受けて、平成22年度事業にどのように生かしているのか。</p> <p>(3) 県の出資団体等で雇用問題などが明るみになっている団体を把握しているのか。それらに対してどのような策を講じているのか。また、雇用確保にどのように努めているのか。</p>			

一般質問通告表

平成22年第1回沖縄県議会(定例会)

02月23日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
5	20分	嘉陽 宗儀(共産党)	知事

質問要旨

1 米軍基地問題について

- (1) なぜ、沖縄に米軍基地があるのか、その法的根拠は何か。
- (2) 米軍の沖縄支配と「天皇メッセージ」との関係はどうなっているか。
- (3) 日米安保条約との関係について説明せよ。
- (4) サンフランシスコ平和条約と安保条約との関係はどうなっているか。
- (5) 旧日米安保条約について、どのような状況で締結されたか。国民の合意に基づく調印が行われたのか。
- (6) 旧日米安保条約の最大の特徴は何か。
- (7) 現行の日米安保条約と旧日米安保条約の違いについて説明せよ。
- (8) 日米安保条約は軍事的にも、経済的にも、政治的にも日本の主権を踏みにじり、事実上のアメリカの従属国にしていると考えるが、所見を伺う。
- (9) 日米安保条約を解消する方法はあるか。日米安保条約が解消されたら、日本はどのように考えるか。

2 米軍普天間基地問題について

- (1) 米軍普天間基地の危険性について、その実態を説明せよ。
- (2) 米軍普天間基地による県民生活への影響について、被害の実態について具体的に説明せよ。
- (3) 米軍普天間基地の危険性を除去する方法はあるか。あるとすればどのような努力と取り組みをしてきたか伺う。
- (4) 米軍普天間基地に駐留している海兵隊は沖縄県民を守ってきたか。
- (5) 海兵隊による事件・事故、県民に対する犯罪の実態はどうなっているか。
- (6) 米軍普天間基地の危険性を除去するために知事は県民の先頭に立つべきだと考えるが、なぜ、それができないのですか。大衆運動はやらないというのが信条か。
- (7) 普天間基地の移設先探しでは、問題の解決にならないことは歴史的経過を見れば明瞭である。移設条件のない閉鎖・撤去を求めるべきではないか。決意を伺う。

3 泡瀬干潟の埋立問題について

- (1) 沖縄市が作成した新しい事業計画の内容について知っているか。
- (2) 土木建築部長はこの計画作成にどのように関わってきたか。
- (3) その事業について簡潔に説明せよ。
- (4) その計画は裁判で指摘された経済的合理性のあるものになっているか。
- (5) その事業計画に基づく公有水面埋立免許の申請が出されたら、許可するか。
- (6) 新港地区にエタノールの貯蔵施設を建設予定しているようだが、その事業の内容を掌握しているか。
- (7) 公害の発生のおそれがあると思うがどうか。

4 泡瀬ゴルフ場跡地の大規模集客施設の立地について

- (1) その事業内容について説明せよ。
- (2) 沖縄市など既存商店街への影響について、どう考えているか。

- (3) 規模縮小を求めるなど、対策が必要だと考えるが、どうするか。
- 5 沖縄市の新焼却炉問題について
- (1) 沖縄市の北部地域に産業廃棄物処理施設が過度に集中している問題で、沖縄市は「沖縄市北部地区における特定用途制限地域の都市計画決定について」広告縦覧を行ったが、その内容を説明せよ。
 - (2) 産業廃棄物処理施設にどのような規制が可能となるか。
 - (3) 違法なごみ山問題の解決のためにどのような取り組みをしているか。見通しは。
 - (4) 海邦町に建設されようとしている産業廃棄物処理施設は、現在はどうなっているか。
- 6 中小業者支援のための融資制度の改善について
- (1) 「中小企業振興条例」を制定したが、現在までどのような効能を發揮しているか。
 - (2) 中小業者から「借り換え融資制度」に関する創設を求める要求が出されているが、県として検討すべきと考えるが、所見を伺う。
 - (3) 中小の製造業者から資金繰りの支援を求められているが、実態を調査して適切に対応すべきだと考えるが、決意を伺う。
 - (4) 金融円滑化法のために予算を組み、中小業者を支援すべきと思うが、具体化を求める。
- 7 教育問題について
- (1) 高校進学に対する「輪切り」の進路指導が行われているが、その教育的弊害はないか。
 - (2) 「学力向上推進運動」について弊害は顕著である。見直すべきではないか。
 - (3) 基礎学力をしっかりと身につけてこそ、より高い専門教育は成り立つが、それであれば現在の多様化された高校教育は、見直すべき時期に来ていると考えるがどうか。
 - (4) 教師の多忙化問題の解決策はどうなっているか、取り組みの現状を説明せよ。
- 8 我が党の代表質問との関連について